省エネ・照明デザインアワード審査委員プロフィール



石井幹子(いしい もとこ)

都市照明からライトオブジェや光のパフォーマンスまでと幅広い光の領域を開拓する照明デザイナー。日本のみならずアメリカ、ヨーロッパ、中近東、東南アジアの各地で活躍。新エネルギー、省エネルギーを積極的に用いた照明デザインに取組む。北米照明学会会員、国際照明デザイナー協会特別会員(Fellow)、日本照明委員会会員、照明学会名誉会員、光文化フォーラム代表。



大谷義彦(おおたに よしひこ)

日本大学名誉教授、工学博士、主として室内照明設計関連の研究に従事。 平成9年度照明学会賞受賞、平成15年CIE Award 受賞、照明学会名誉会員、 日本照明委員会名誉会員、元LED 照明推進協議会(NPO)会長、Light Bridge Association JAPAN NPO 副理事長、照明学会認定「照明プロフェッショナル」。



落合勉(おちあい つとむ)

照明デザイナー、M&O デザイン事務所代表。ヤマギワにて照明を実践後、1991年横浜にて M&O デザイン事務所スタート、現在に至る。2001年から LED 照明デザインワークに特化しての活動を展開、そして 2006年からは OLED 照明普及にも尽力。趣味は古灯具探索で、日本のあかり文化の認知普及活動を展開中。2009年7月、Light Bridge Association JAPAN NPOを設立。後進の育成にも力を注ぐ。



泥正典(どろ まさのり)

(一社)日本照明工業会専務理事。兵庫県立姫路工業大学機械工学科修了。 三菱電機(株)の照明事業部門で製造技術、品質保証及び照明器具の新製品 開発に従事。

(敬称略:五十音順)